



秋庭歌一具

武満徹没後30年記念企画



Photo: Schott Music Co. Ltd., Tokyo



出演 / 伶楽舎、荒木奏美 (オーボエ)、宮田まゆみ (箏)

曲目 / 管絃 / 太食調音取、合歡塩、嘉辰、抜頭

武満徹 / デイスタンス (1972)

荒木奏美 (オーボエ)、宮田まゆみ (箏)

舞楽 / 還城楽 (右方)

武満徹 / 秋庭歌一具 (1973/79)

ナビゲーター / 片山杜秀 (水戸芸術館館長)

*15:45から伶楽舎メンバーと片山杜秀によるプレトークがございます。



荒木奏美 (オーボエ)



宮田まゆみ (箏)



ナビゲーター: 片山杜秀

2026年10月4日 [日] 15:30開場・16:00開演
会場: 水戸芸術館コンサートホールATM

◎料金 (全席指定): 一般 4,500円、U-25 (25歳以下) 1,500円、9月26日「武満徹の肖像」公演とのセット券 7,000円
※セット券とU-25チケットの取り扱いは水戸芸術館のみ

◎チケット発売: 2026年5月30日 [土]

財団運営維持会員先行予約: 5月26日 [火] ※電話・Web 予約のみ / 水戸芸術館メンバーズ先行予約: 5月27日 [水] ※電話・Web 予約のみ
※会員先行予約がありますので、一般発売日の時点で、水戸芸術館取り扱い分が終了している場合があります。

主催: 公益財団法人 水戸市芸術振興財団 助成: 文化庁文化芸術振興費補助金 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業) | 独立行政法人日本芸術文化振興会

今昔雅楽集 四 秋庭歌 一具

「まさか音がたちのぼるといふ印象をうけた。それは、樹のように、天へと回って起ったのである」

一九六一年十月六日、宮内庁で初めて雅楽の演奏を生で聴いた作曲家・武満徹は、その鮮烈な感動を、このように日記に書き残しました。そして彼の創作に、雅楽の響きと東洋的な時間感覚は、大きな影響を与えることになりました。

雅楽の古典と現代に生まれた新作を集めた「今昔雅楽集」。第四回は、今年没後三十年を迎えた武満徹が見つめた雅楽の世界を、片山杜秀のナビゲートにより、ひも解きます。

第一部は、武満が衝撃を受けた一九六一年の宮内庁秋季雅楽演奏会の曲目を抜粋、再構成します。管絃と舞楽の間に挟まれるのは、武満によるオーボエと笙の二重奏曲《テイスタンス》。気鋭のオーボエ奏者・荒木奏美と笙の第一人者・宮田まゆみによりお贈りします。《テイスタンス》で試みられた笙のエコーの効果は、後の雅楽作品《秋庭歌》において「木魂」と名付けられた楽器群へと発展しました。

第二部は、武満の生涯で最長の作品《秋庭歌一具》。一九七三年作曲の《秋庭歌》を中心に、前後に五楽章を加えた現代雅楽の傑作です。演奏は、創設以来《秋庭歌一具》の演奏に取り組んできた雅楽のスペシャリスト集団「伶楽舎」。水戸芸術館では二〇一八年に《秋庭歌》を上演して以来、満を持しての「一具」《全編》の披露となります。客席を取り囲む六群の楽人たちによる立体音響の雅楽は、伝統と現代が融合した新しい聴体験となるでしょう。武満が創り出した「音がたちのぼる」瞬間が、今ここに現れます。

【武満徹没後30年記念企画】

◆講座 片山館長とめぐるシリーズ
第1回 武満徹をめぐる9月5日[土] 14:00開演
全席自由1,000円
講師：片山杜秀 / 司会：大津良夫

◆「武満徹の肖像」9月26日[土] 16:00開演
料金(全席指定)：一般4,500円
U-25(25歳以下)1,500円
「秋庭歌一具」公演とのセット券7,000円もございます。
出演：波多野睦美(メゾ・ソプラノ)、北村朋幹(ピアノ)
山澤慧(チェロ)ほか / 片山杜秀(ナビゲーター)

- U-25チケットについて (枚数限定)
 - ◎25歳以下の方が対象のお得なチケットです(未就学児不可)。
 - ◎ご購入いただきましたご本人様のみご利用いただけます。
 - ◎当日ご入場の際には、年齢を証明するものが必要となります。
 - ◎取り扱いは水戸芸術館のみとなります。

- チケットの取り扱い
 - ・水戸芸術館(9:30~18:00/月曜休館)
 - ・エントランスホール内チケットカウンター
 - ・水戸芸術館チケット予約センター 029-231-8000
 - ・ウェブ予約 <https://www.arttowermito.or.jp/ticket/>
 - ・e+(イープラス) <http://eplus.jp> (PC・携帯)
 - ・かわまた楽器店 029-226-0351
 - ・ヤマハミュージックジャパン水戸店 029-244-6661 (店頭販売のみ)

- お問い合わせ
 - 水戸芸術館 チケット予約センター 029-231-8000
 - 営業時間：9:30~18:00/月曜休館
 - ◎車椅子のお客様、盲導犬、介助犬同伴のお客様は、指定の座席へのスムーズなご案内のため予約時にお知らせください。
 - ◎公演の内容や出演者は、変更になる場合があります。
 - ◎未就学児のご入場はご遠慮ください。
 - ◎公演中止の場合を除き、一度購入されたチケットの払い戻し、交換等は出来ませんのでご了承ください。

【交通のご案内】
JR常磐線水戸駅北口より、バスターミナル4~7番のりばから泉町1丁目下車、徒歩2分。

水戸芸術館
水戸市五軒町1-6-8 〒310-0063 TEL.029-227-8111
<https://www.arttowermito.or.jp/>

(1930.10.8~1996.2.20)

東京生まれ。ほぼ独学で作曲を学ぶ。1951年、芸術グループ「実験工房」を結成。1959年、吉田秀和らが設立した「20世紀音楽研究所」に加入。1967年、琵琶と尺八と管絃楽のための〈ノヴェンバー・ステップス〉が小澤征爾の指揮でニューヨーク・フィルハーモニックにより初演され、国際的に高い評価を受けた。水戸芸術館では1990年から亡くなるまで吉田秀和賞審査委員を務めた。また1992年には〈そして、それが風であることを知った〉がコンサートホールATMにおいて世界初演されている。

雅楽の合奏研究を目的に1985年に発足した雅楽演奏グループ。芝祐靖が創立し、2019年まで音楽監督を務めた。現音楽監督・宮田まゆみ。現行の雅楽古典曲以外に、魔絶曲の復曲や正倉院楽器の復元演奏、現代作品の委嘱と演奏に取り組み、国内外で幅広い活動を展開。創立には、武満徹(秋庭歌一具)のより良い演奏を目指すという芝祐靖の気概があり、活動の一つの目的に据えてきた。2001年5月、〈秋庭歌一具〉を演奏したサントリーホールでの自主公演が評価され、2002年2月中島健蔵音楽賞特別賞を受賞、同時に録音したCD『秋庭歌一具』(ソニー・クラシカル)は2002年度芸術祭レコード部門優秀賞受賞。2016年11月「伶楽舎第十三回雅楽演奏会〜武満徹 秋庭歌一具〜」では、第16回(2016年度)佐治敏三賞を受賞。2020年第50回ENEOS音楽賞(邦楽部門)、2025年第45回伝統文化ボーラ賞(芸能部門・優秀賞)受賞。一方で、解説を交えた親しみやすいコンサートを企画し、雅楽への理解と普及に努め、子どものためのCD、DVD製作、子どもや小中高校生、雅楽初心者を対象にワークショップ、レクチャーコンサートなども多く行っている。水戸芸術館では2018、19、21年の「今昔雅楽集」シリーズに出演。

なお「伶楽舎」の名前は、古代中国の楽人の祖とされる「伶倫」に因んで、現行の雅楽のみならず、魔絶曲や新作など、従来の枠にとられない幅広い活動を目指して、芝祐靖によって付けられた会名である。

茨城県東海村出身。東京藝術大学を首席で卒業後、同院修士課程修了。在学中の21歳でオーディションに合格し、2023年3月まで東京交響楽団の首席奏者をつとめ、現在、読売日本交響楽団 首席オーボエ奏者。第11回国際オーボエコンクール・軽井沢ではアジア勢で初となる第1位[大賞]、併せて聴衆賞を受賞。第27回出光音楽賞。ハインツ・ホリガーに才能を認められトリオでツアー公演を行うほか、故モーリス・ブルグ、ハンス・イェルク・シェレンベルガー等、オーボエの巨匠と共演を重ねる。ソリストとしては東京交響楽団、東京都交響楽団などと協演。デビュー・リサイタルを東京・春・音楽祭で行い、全国各地でソロコンサートや武生音楽祭はじめ音楽祭の参加、新作の初演含む現代音楽、劇伴音楽など幅広いレパートリーと音楽活動を展開している。新進気鋭の音楽集団 Ensemble FOVE、反田恭平率いる Japan National Orchestra メンバー。

国立音楽大学ピアノ科卒業後、雅楽を学ぶ。古典雅楽はもとより、ジョン・ケージ、武満徹、ヘルムート・ラッペンマン、細川俊夫など現代作品の初演も多く、小澤征爾指揮サイトウ・キネン・オーケストラ、シャルル・デュトワ指揮 NHK 交響楽団、アンドレ・プレヴィン指揮ニューヨーク・フィル他、国内外のオーケストラと数多く共演。東京、ニューヨーク、ウィーン、ロンドンなどでのリサイタルと幅広く活躍している。2016年に行った『甦る古譜と現代に生きる笙 シリーズⅢ』によって2017年芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。今までに芸術選奨文部大臣新人賞、中島健蔵賞、佐治敏三賞、国際交流基金賞など受賞。国立音楽大学招聘教授。伶楽舎音楽監督。

武満徹

Toru Takemitsu

伶楽舎

Reigakusha

荒木奏美(オーボエ)

Kanami Araki (Oboe)

宮田まゆみ(笙)

Mayumi Miyata (Sho)